2013年度夜勤実態調査表　6月実績【介護施設用】

※療養病床・重度心身障害者施設等は医療機関用の実態調査票（別調査）にお答えください。

介護施設夜勤実態調査・基礎項目

単組コード

未記入の無いようにお願いいたします。

組合名						
施設名						
業態	特養	老健	グループホーム	小規模多機	複合型	短期入所
調査単位	フロアー	ユニット	施設			
記入者						
連絡先／TEL	（内線）					
定員数	人　うち ショート　人					

↑定員数：小規模多機能、複合型は、泊りの定員数

夜勤協定の状況

夜勤協定締結（いずれかに〇印）	有	無
夜勤回数の協定（回数を記入）	月　回	

勤務間隔（いずれかに〇印）

勤務間隔は12時間以上あるか	有	無

勤務者総数（非正規含む）、妊産婦、休業者等

	介護職員数	看護職員数	その他数
総数			
（内男性数）			
妊娠者数			
産休者数			
育休者数			
育児短時間取得数			
介護休暇取得数			
病欠者数			

記入にあたっての注意事項

1. 調査対象は、24時間の対応を行っている介護施設（調査単位ごと）
2. 詳細項目の調査単位については、同じフロアに入所とショートステイが存在する施設で、夜勤体制を分けて組んでいる場合は、別々の調査単位としてご記入ください。
3. 下記の項目は、必ず記入してください。未記入時は集計から除外される場合があります。
   ※平均利用者数・職場の人員体制・勤務体制・夜勤体制・夜勤の形態・夜勤日（回）数別の人数
4. 平均利用者数・平均介護度・人員配置水準は小数第1位まで（小数第2位切り上げ）。
5. 平均利用者数・平均介護度・最も多い夜勤回数（2交替）以外の項目は全て整数（小数点なし）でお答えください。
6. 数値の間に”～”や”・”などを付けないでください。（単一の整数でご記入ください。）
7. 1施設1枚送付のため、職場記載欄が不足の場合、用紙をコピーでご使用ください。

締切りと調査の活用について

締切：2013年8月31日　　日本医労連　必着

※秋のたたかいに活用できるようにまとめます。

〒110-0013　東京都台東区入谷1-9-5　　日本医療労働会館3階　日本医労連

◇郵送かFAX(**03-3875-6270**)でお願いします。

◇全国組合本部・県医労連にコピー送付をお願いします。

介護施設夜勤実態調査・詳細項目

※夜勤実施している職場のみ（調査単位ごと）記入して下さい。

調査単位	平均利用者数 注1	平均介護度	認知症利用者数	要医療行為利用者数	夜勤の状況：夜勤明け翌日が勤務だった回数 注2	夜勤体制にかわる加算の取得	夜間救急対応 注3：救急対応回数	付き添い回数	一日の最高対応回数	職場の人員体制：人員配置水準 注4		職員 注5	正規職員	非正規職員	派遣等	勤務体制 注6：早出人数	日勤人数	遅出人数	夜勤の形態 注7	夜勤体制 注8：職員	3交替準夜	3交替深夜	2交替夜勤	当直	待機回数	夜勤に入ったのべ人数	夜勤日（回）数別の人数 上段：3交替の日数（4日迄と13日以上は集約） 下段：2交替の回数（2回迄と10回以上は集約）											最も多い夜勤日（回）数 注9	夜勤専従者人数
1	① ②					有 無					:1	介護職員							①②③④⑤⑥⑦	介護職員							3交替	4日迄	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日以上		
												看護職員								看護職員							2交替	2回迄	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回		
												その他								その他								7回	7.5回	8回	8.5回	9回	9.5回	10回以上					
2	① ②					有 無					:1	介護職員							①②③④⑤⑥⑦	介護職員							3交替	4日迄	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日以上		
												看護職員								看護職員							2交替	2回迄	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回		
												その他								その他								7回	7.5回	8回	8.5回	9回	9.5回	10回以上					
3	① ②					有 無					:1	介護職員							①②③④⑤⑥⑦	介護職員							3交替	4日迄	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日以上		
												看護職員								看護職員							2交替	2回迄	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回		
												その他								その他								7回	7.5回	8回	8.5回	9回	9.5回	10回以上					

注1　平均利用者数
特養・老健・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ・短期入所の場合は①に平均利用者数を記入。
小規模多機能、複合型の場合は、
①に6月の泊りの利用者総数を、②に6月の泊りのあった日数を記入。

注2　夜勤明け翌日が勤務だった回数
突発的な対応を除く。
あらかじめ勤務表で夜勤明けの翌日に組まれていた回数を記入。

注3　夜間救急対応
救急対応回数：受診を要する利用者の発生回数
付き添い回数：救急対応にて付き添いが発生した回数
一日の最高対応回数：一回の夜勤で救急対応した最高回数

注4　人員配置水準
利用者に対する介護職員（常勤換算）の割合。
利用者30人、介護職員10名の場合、人員配置水準は3：1。

注5　職員
その他とは、介護・看護職員以外の職員で配置水準にカウントされている職員。
具体的には「事務職・ケアマネ等」

注6　勤務体制
勤務体制については以下の時間を目安に各シフトの配置数を記入。
早番：朝5時以降、8時までに始業となるシフト
日勤：朝8時以降、10時までに始業となるシフト
遅番：10時以降に始業となるシフト（準夜勤等、夜勤を除く）
（※始業時間：シフトで勤務開始とされている時間）

注7　夜勤の形態　①～⑦のいずれか1つをチェック
①3交替
②変則3交替
③3交替と2交替の混合
④2交替（夜勤時間16時間未満）
⑤2交替（夜勤時間16時間以上）
⑥当直と2交替
⑦当直

◆3交替：日勤（早出・遅出を含む）・準夜・深夜の交替制
　2交替：日勤（早出・遅出を含む）・夜勤の交替制
◆夜勤時間は就業規則に定められた夜勤開始から終了までの時間

注8　夜勤体制（夜勤人数）
基本的な夜勤人数を記入。
（例えば3人夜勤が週4日以上をしめている場合、「3人」と記入）
3交替と2交替の混合の場合は、主たるシフトの夜勤体制を記入。
（18人中、16人が3交替、2人が2交替の場合、
3交替の欄に夜勤体制を記入）

※看護職員の場合は、「夜勤」・「当直」・「待機」の回数を記入。

注9　最も多い夜勤数
13日以上または10回以上の夜勤に入った人の最も多い夜勤数
（例えば16日など）